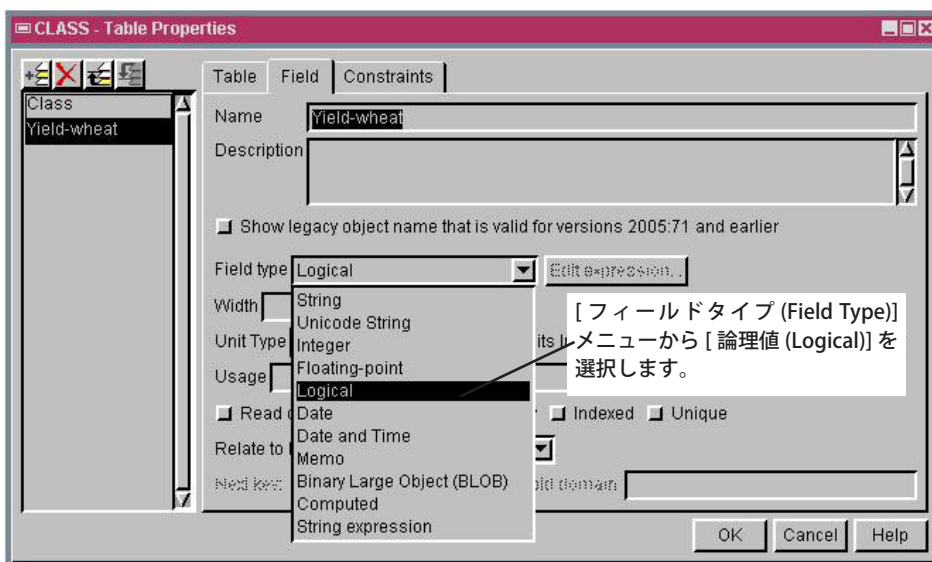


データベースの論理値フィールド

ご存知でしたか?... 論理値フィールドを使って、要素が特定の条件を満たすかどうかを識別できます。

データベースの論理値フィールドを使うことで...

- フィールドに入る“Yes”または“No”の値を使って、要素を識別できます。
- テーブル表示では、グレーボックスの中に赤のチェックを入れると“Yes”になり、空欄は“No”を示します。
- 単一レコード表示では、“Yes”を入力すると、デフォルト値の“No”から変更できます。

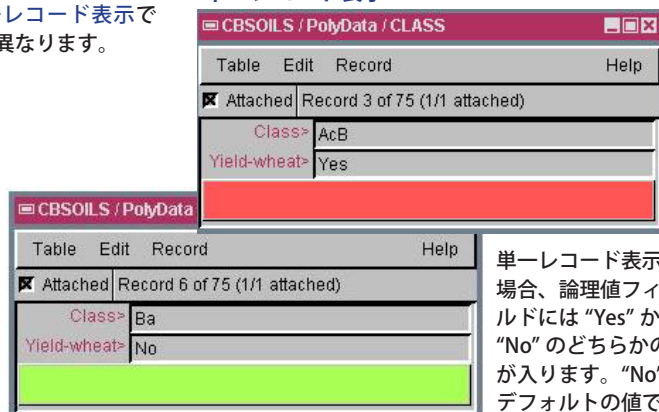


テーブル表示



論理値フィールドは、テーブル表示と単一レコード表示で表示の仕方が異なります。

単一レコード表示



上図の例では、論理値フィールドは「soil type(土壌タイプ)が yield of wheat(小麦の収穫高)を持つかどうか」を示しています。

データベースの論理値フィールドを作成する方法

- データベーステーブルで新規フィールドを作成します。
- [フィールドタイプ]メニューから[論理値]を選択します。
- テーブル表示で、グレーボックスを空のままにすると“No”、グレーボックスの上でクリックすると“Yes”を示す赤のチェックが入ります。
- 単一レコード表示では、“Yes”を入力すると、デフォルト値の“No”から変更できます。



さらに知りたいことがあれば...

マイクロイメージのウェブサイトをご覧ください

